

保父会ニュース

1990/11/17

vol.8 発行 北海道の子どもと保父の会

十月の例会報告

十月の例会は、二十日の日に七月の例会に続いて関口先生を迎えて三回目の勉強会が行われました。

今回は、前二回のお話しを踏まえて無意味な言葉（ちんぷんかんぷんコトバ）を言う、「あいうえお」の文章を笑ったり怒ったりと色々なイメージで言う。

二人組になつて身体のリズムをし合う。縄のないなわとび・ボールのないボール投げ等色々な実践をし、楽しい雰囲気の中に講習が終わりました。

終了後は、南三四の「北羊館」にて関口先生を交えて寺島夫妻の結婚祝いを行いました。

ここでは寺島君の新婚旅行（オーストラリア）での珍道中の話や、小田氏・船山氏の意見対立に船山氏が「対立することはいい事だ」と感激する一場面も見られ、大いに盛り上がり、その勢いにかけて、関口先生を除く全員が三次会になだれ込み。さらに酔いが深まった一日でありました。

十月の例会感想

風の子保育園

西村 猛

私は初めて“保父の会”に参加させていだいたわけですが、はっきり言って驚きの連発攻撃でした。普通の詩をいかに表現豊かに読むことができるかといったことだつたのですが、「怒り」ながら「悲しみ」ながら「笑い」ながら「ダラケ」ながら等々、様々な表現で文章を読み上げていき、「この場にだれか部屋を間違えて入ってきたらどうなるべ」と思ったほど、皆さん一生懸命に読んでおりました。

私もはずかしながら（ウブに赤面しながら）やっていました。特に「怒り」ながらの気持ちのいいこと！ 普段のフラストレーションが一気に外界に飛んで行った様でした。ヒューヒュー！

又寺島さんの結婚祝いで飲み会にETSRABOIIして、その時に様々な保父の方々と交換できたことは、大変うれしく、又今後とも共に活動していきたいと思えます。

単発 連載？

「フェラーリの
風に吹かれて」

・・・氏のパクリ
三村 信行

抜けるような青い空を見上げると見慣れた飛行船がゆっくりとサーキットを見守る様に浮かんでいた。また今年もあの興奮と感動が・・・ってな出だしで書きだしたらあとが続かない、文才がない、金がない。こんな事になるんだったら「今年も行ってくる」なんて言うんじゃない。感動と興奮がそうやすやすと文章にできるわけねエヨ。瀬尾氏の口車に乗ったオレが甘かった。ついでに彼女の唇も甘かった。殺すぞアル中.....この山の神の一声が一番こわい。

Dir Ferrari様

十月は全てが光輝きブスも美人に、白米と桃屋の「ごはんですよ」の食事も一流レストランのフルコースに思える位にすてきな月なのです。もっとも美人やフルコースなんぞ喰った

ことはないので比較に無理があるということではあります、それほど私にとって重要な月という意味の話でありまして... くだいなかなか本題に入らないのはこうしてダラダラと書いているうちに瀬尾氏より「もういい！やめろ！」の聲がかかるのを待っているのですが、いかがなものでしょう。

感動と興奮ということだったら、毎日飲み続けているビールのことのほうが書きやすい気もする。いっそのことタイトルを「我がビール考」とでも書き換えようか。

F-観戦の感動と興奮を伝えることは、街で見かけたイイ女に恋するときの胸のときめきに似ている。実際F-マシンは全車「イイ女」としてオレは見ている。中でもFerrariとMcLarenは上玉。これオススメじゃなくてオススメ。

もうそろそろ約束の800字は超えたかな？

以下また今度続くかな

「風に吹かれて」

保父修行物語 その十

第一はとポツポ保育園 船戸 敬悦

Ｔちゃんが保育園に来てから一ヶ月が過ぎようとしていた。相変わらず高い所が好きで下駄箱の上や机の上に乗ってはブツブツ言っているのだった。少しずつではあるが、私と手をつないだり、抱かれることも嫌がらなくなってきた。気が入らないことがあると異常なほどの泣き方で頭をガンガン地面に打ち付けるので、その度に私はＴちゃんを抱きかかえ、目が離せないのだった。ばら組の子どもたちもＴちゃんに対して「一緒にあそぼ」と誘

うのだが、一向に構わずといった様子の毎日が続いていた。「あせつてはいけない、じっくりTちゃんとかかわっていきましょう！」と自問自答していた。

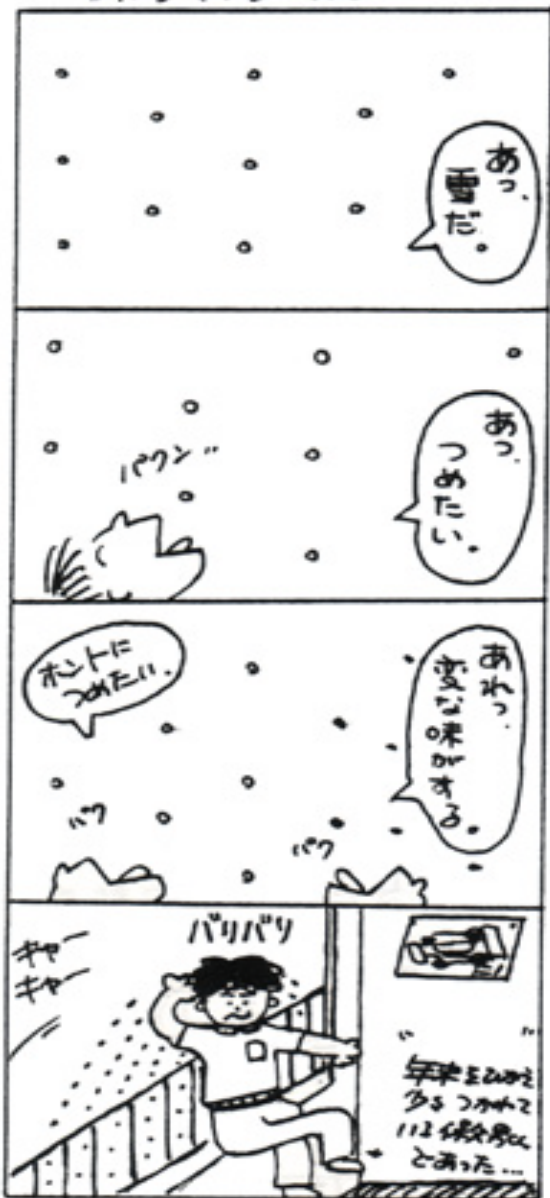
今福の職員集団としてもTちゃんとかかわりかたや、接し方、そして課題などにか全職員で見守っていきましょう！という結論に達していた。私にとっても初めての経験、自閉症に関する本を読みあさりに図書館通いの毎日が続き、専門機関との連絡も密にとりながら、Tちゃんと接する毎日で体はくたくた、精神的にも疲れていく自分を感じていたのだった。そんなある日一人の男性保育者からの電話があった。大阪の男性保育者が集まって交流会をしようという提案だった。私も知り合いの保父仲間に連絡を取り第一回大阪での男性保育者連絡会交流会が堺市の泉保育園で開かれた。交流会といって

もまだまだ男性保育者として認められて数年しかたつておらず大阪の保父は全部で四名だった。しかし、この四人がなかなかユニークな経歴の持ち主で個性豊かな面々だった。ある企業のコンピューター・プログラマーだった金沢君は生き甲斐を求めてこの道に入つて来た情熱的な男だった。そして大阪時代バンドをやつていて大阪のディスコ大会で優勝した経験を持つ松田君、元落語家の岡崎

君、そして私の四人だった。

皆それぞれに保父という仕事に生き甲斐を求めてユニークに活動していたが、やはりまだまだ少数派であり、経済面やそれぞれの実践面で誤行錯誤のなか戦っているのがあった。毎日悩みながら保育をしていた私にとって同じ立場の仲間たちと出会えたことは、本当に励みになっていた。そして、この交流会が大阪男保連の歩みの第一歩であった。

保父男くん K.



事務局より

保父会ニュースも八号を発行するにいたりましたが、投稿が少なく魅力的な紙面作りに苦心しています。特に普段例会に参加する事が難しい札幌以外の会員のみなさん！このニュースの感想でも結構ですので、原稿お願い~~~~~！

新会員の紹介

西村 猛さん

学生時代にセツルメント活動をしていて、一般企業に勤めたものの、子どもの魅力を忘れられず、保育の世界にデューダした彼です。よろしく！

風の子保育園に勤務

お知らせ

十二月の例会は、先生も走るほど忙しい月ですので、いつもの例会はお休みさせていただきます、「忘年会」を開催したいと思います。

日時は、十二月十五日(土)午後六時、場所は可及的速やかに決定し次第お知らせいたしますので、予定を開けて待つて下さい。乞うご期待！

いつてらっしやい！

このニュースでも案内していた名古屋にて行われる第六回男性保育者全国交流会に、会長小田氏と新人西村氏が参加することになりました。開会式に北海道での活動を報告することになっています。また、夜を徹して行われる文化交流会に体力がもつか心配な小田氏ですが、お土産話を期待しましょう！

会計よりお願い

会員の皆様、お忙しい毎日をお過ごしのことと思いますが、その忙しさのために平成二年度の会費をお忘れの方は、早めに

「北洋銀行
北海道の子どもと保父の会会計
瀬尾昌彦」まで振り込みをお願いします。

事務局

003 札幌市白石区北郷二条三丁目
北白石保育園内